

授業科目名	現代教育課題C（学校と安全）(2100204)		
時間割名	現代教育課題C（学校と安全）(31111)		
時間割担当	松井典夫		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・1		

授業の目標・概要

学校安全とは、児童生徒が健康で安全な生活を送るために必要な資質や能力を養い、生命尊重を基盤として、他者や社会の安全にも貢献できる人材を育成することと捉えている。本講義では、学校安全や危機管理の重要性を学習する中で、学校安全計画や救急救命体制が円滑に機能するように、リーダーシップが発揮できる力量を身につける。救急救命事例のシミュレーション等も行う。

学習の到達目標

学校安全に関する知識・理解 教職員の安全意識 安全教育について

以上の三点についての理解と認識を深め、学校教育現場での学校安全を、率先して実践することができる資質・能力をつける。

授業方法・形式

それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。ペアやグループ学習、取り上げるテーマに関するディスカッション等を行う。

授業計画

- 第1回 学校安全の意義
過去に学校安全を脅かした事件、事例を挙げ、学校安全の必要性の認識を深める。
- 第2回 学校安全の意義
過去に学校安全を脅かした自然災害などを例に挙げ、学校安全の必要性の認識を深める。
- 第3回 学校安全設備について
一般的な小学校と、事件のあった小学校の安全設備の違いから、学校安全設備についての認識を深める。
- 第4回 教職員の安全意識について
教職員の不審者対応訓練の動画を視聴し、教職員の安全意識についての認識を深める。
- 第5回 教職員の安全意識について
教職員の衣服、IDカード、履物等、教育現場での実情と安全意識の関係性の、認識を深める。
- 第6回 安全教育について
これまでの安全教育の経緯について、理解を深める。
- 第7回 安全教育について
防犯に関する安全教育の実践例から、安全教育の実践方法について理解を深める。
- 第8回 安全教育について
災害に関する安全教育の実践例から、安全教育の実践方法について理解を深める。
- 第9回 学校安全の実践技能
事件・事故が発生したときの対処法について学び、実践的な技能を身につける。
- 第10回 学校安全の実践技能
災害が発生したときの対処法について学び、実践的な技能を身につける。
- 第11回 学校安全の実践技能
校内で児童生徒のけが等が発生したときの対処法について学び、実践的な技能を身につける。
- 第12回 メンタルサポートについて
事件事故、災害が発生した後の、児童生徒のメンタルサポートについて理解を深める。
- 第13回 これまでの学校安全とこれからの学校安全
過去の事件、事故、災害から、見直すべき学校安全の認識について考え、理解を深める。
- 第14回 これまでの学校安全とこれからの学校安全
これから必要とされる学校安全の取り組み、内容について考え、理解を深める。
- 第15回 授業の総括として、これまで身に付けたことについて振り返る。

成績評価の基準

授業中に行う活動や小レポート評価し、授業に対する関心・意欲・態度や理解度を評価する（40%）
課題レポートにおいて、課題探究の深さ、緻密さ、斬新さなどを評価する（30%）。
学期末テストにおいては総合的な理解を確認する（30%）。

授業時間外の課題

授業時に、次回以降の学習テーマについて、予習する内容を具体的に伝える。必要に応じて提出も課する。復習についても同様。

メッセージ

教材・教科書

テキスト：「生きる力を育む学校での安全教育」文部科学省、「学校安全のナラティブ」教育出版

参考書

参考書：授業中に指示する